

## △ケイキサレート散・◎DS76% [内]

【重要度】 【一般製剤名】ポリスチレンスルホン酸ナトリウム Sodium polystyrene Sulfonate 【分類】血清カリウム抑制剤

【単位】△5g/包, ◎3.28g/包 [76%DS] (1包2.5g相当)

【常用量】30g/日

【用法】分2〜3 (水50〜150mLに懸濁) ■DS:1回量(10gあたり)を水50〜150mLに懸濁

【透析患者への投与方法】常用量 (1) 便の腸管通過障害により結腸穿孔を引き起こすことがあるので便秘しやすい患者にはソルビトールなどの適切な下剤を最初から併用する。ただし硬便がすでにある場合には取り除いてからソルビトールを投与する (5) 血清K, Na値を確認する (1)

CPSからSPSに変更すると4週後の血清Kが5.5から4.9に低下した (Nakamura T, et al: Drugs R D 2018 PMID: 30097847)

【保存期 CKD患者への投与方法】常用量 (1) 便の腸管通過障害により結腸穿孔を引き起こすことがあるので便秘しやすい患者にはソルビトールなどの適切な下剤を最初から併用する。ただし硬便がすでにある場合には取り除いてからソルビトールを投与する (5) 血清K, Na値を確認する (1)

【特徴】Na-K交換樹脂。 vitroでは1gあたり2.81〜3.45mEqのKと交換し、生体内では他の陽イオンの影響があり実質1gあたり約1mEqのKと交換する。

【主な副作用・毒性】便秘、浮腫、低Ca血症、悪心・嘔吐、腹痛など

【安全性に関する情報】Naが放出されるため、血清Na濃度を上昇させる可能性 (1) 放出されたNaが塩類下剤のように作用し、軟便となる可能性 [Caレジンより便秘を起しにくい可能性] (1)

【吸収】吸収されない (1)

【透析性】該当しない

【相互作用】甲状腺ホルモン製剤を吸着して作用減弱の可能性 (1) 炭酸Ca併用によりカリウム吸着能が減弱 (磯部邦彌, 他: 日病薬誌 48: 323-7, 2012)

【備考】Na含有量は1gあたり約100mg (4.4mEq) (1) カリメートよりも単位量あたりのK吸着力がやや強い、( vitro) (最大約2倍)

【更新日】20220702

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。